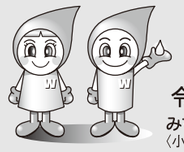
水おたる

Water in Otaru



水道局広報
第60号
令和8年11月1日発行

みずきちゃんとみずおくん
〈小樽市水道局キャラクター〉

水道の凍結にご注意ください

一般的に外気温が氷点下4度以下になると、日中でも水道が凍結することがあります。水道が凍結すると、水が使えなくなるばかりでなく、水道管の破裂などにより修理代が必要となります。

外出時や就寝前には、水抜栓で水を落とすなど、水道の凍結にご注意ください。

水抜き方法及び解氷方法

❄凍結を防ぐための水抜き方法

(1) 台所などの場合（図1）
① 蛇口Ⓐを閉める。
② 水抜栓Ⓑを止める。
③ 蛇口Ⓐを開け、管内の水を出し切る。
④ 蛇口Ⓐを閉める。

(2) 水洗トイレの場合（図2）
① 水抜栓Ⓑを止める。
② タンクにあるハンドルⒶを「大」の方向へ回し、タンクの中の水を空にする。

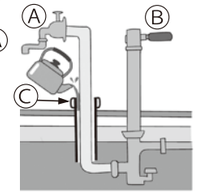


図1

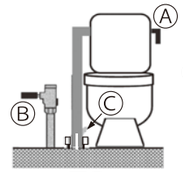


図2

❄凍結したときの解氷方法

図1、2のⒸのキャップの部分にやかんなどで、お湯をゆっくり注ぎ、凍結部を解氷します。その際、管が破裂する恐れがあるので、熱湯は使用しないでください。

❄お湯を注いでも水が出ない場合

お近くの小樽市指定水道工事店に、凍結修理の依頼をしてください。費用は、使用されている方の自己負担となります。

なお、修理の内容によって費用は異なりますので、依頼する前に問い合わせた小樽市指定水道工事店に必ずご確認ください。

■お問い合わせは水道局水道事業課へどうぞ。
☎㉒8111 FAX㉗0695

家屋などを解体するとき

家屋などの解体後に上下水道を使用しない場合は、老朽化による漏水・陥没等の事故防止のため、お客さまの給排水設備の撤去および水道メーターの取り外しをお願いします。解体業者等と協議の上、小樽市指定の給水装置工事事業者および下水道工事店を通じて工事申請手続きを行ってください。

なお、市指定工事店については、サービス課窓口で一覧表を配布しています。また、水道局ホームページにも掲載しています。

■お問い合わせ
・給排水設備の撤去について
水道局サービス課 ☎㉒8114 FAX㉗0695
・メーターの取り外しについて
水道局料金センター ☎㉜4111 内線562 FAX㉝6730



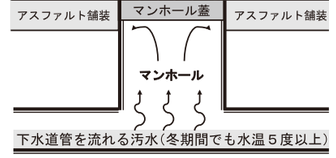
冬道に現れるマンホール上の「くぼみ」について

冬期間の生活道路などでは、マンホール上の圧雪された雪が溶けて「くぼみ」となることがあります。

水道局ではマンホールの中に断熱内蓋（シート型）を設置し「くぼみ」の緩和に取り組んでいますが、市内には未設置箇所があります。車の運転や歩行の際は、路面状況に十分注意してください。

なお、車の走行などに支障がある場合は、下水道事業課までご連絡ください。

■お問い合わせは水道局下水道事業課へどうぞ。
☎㉜1173 FAX㉗0695



積雪などで検針ができないときは

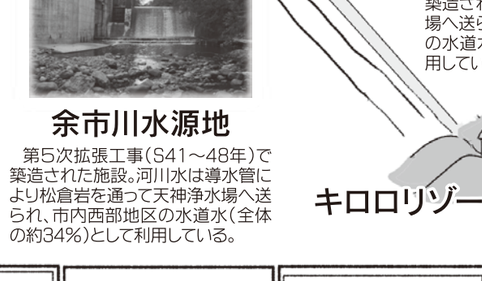
積雪や障害物のため検針ができないときは、やむを得ず使用水量を「推定」させていただきます。

使用水量の推定って？

お客さまの過去の実績を参考にした水量を当月分の使用水量とさせていただくことです。

「推定」した場合は、「水道・下水道使用水量等のお知らせ」に推定した理由等を記載しています。


（メーター）



水道・下水道使用水量等のお知らせ

令和8年12月分（10月7日～12月6日使用分）

お客様番号	12−345678		
口径	13 mm	用途	11 家事用

花園２丁目１１番１５号

水道　太郎　様

使用水量等のお知らせ

今回指針	＊ ㎥		㎥
(−) 前回指針	48 ㎥		㎥
(+) 旧メータ水量	＊ ㎥		㎥
	㎥		㎥
使用水量	水道 25 ㎥	下水道	25 ㎥

積雪のため推定しました。

（参考）前回使用水量 25 ㎥ 前年同月使用水量 28 ㎥

料金等のお知らせ（税込み）

	水道料金	下水道使用料
請求金額	3,811 円	3,388 円
	円	円

この欄に記載しています

料金はどうなるの？

雪解け時や障害物が取り除かれて検針ができたときに、前回の検針からの使用水量を平均的に使用したものとして再計算し、推定料金の精算を行います。

なお、推定水量は変更することができますので、家族数の増減や長期不在などで使用水量の変動が見込まれるときは、料金センターまでご連絡ください。

水のふるさとをたずねて ～蛇口の向こうにある小樽水道の歴史～

みなさんは、毎日使っている水道水がどこから来ているかご存じですか。私たちが普段何気なく使っている水道水は、市内外の豊かな水源から取水され、浄水場や配水池、送配水管などのさまざまな施設を経て、各家庭や事業所へ届けられています。

小樽市の水道は大正3年の創設以来、市民生活や産業活動を支える重要な役割を担ってきました。その歴史の中では、まちの発展や人口の増加に伴う水需要の高まりに対応するため、新たな水源の確保や施設の増設・改良など、幾度にもわたる整備が進められてきました。

現在では、安全でおいしい水が蛇口から当たり前のように供給されていますが、その背景には、水を安定して届けるために尽力してきた先人たちのたゆまぬ努力があります。今回の特集では、私たちの暮らしに欠かせない水のふるさとと、現在の小樽市の水道を形づくってきた施設整備の歩みを、地図と漫画でご紹介します。



朝里ダム
第6次拡張工事（S53～H10年）で築造された施設。ダム水は豊倉浄水場へ送られ、市内中心部～東部地区の水道水（全体の約66%）として利用している。

余市川水源地
第5次拡張工事（S41～48年）で築造された施設。河川水は導水管により松倉岩を通って天神浄水場へ送られ、市内西部地区の水道水（全体の約34%）として利用している。

小樽市の水道は、大正3年の創設以降人口の増加とともに数回の拡張工事を行ってきましたが……

水道局広報
「水おたる」第60号
発行日／令和8年11月1日

発行元 小樽市水道局
〒047-0024 小樽市花園2丁目11番15号
☎0134 ㉜1171 FAX0134㉗0695
suido-somu@city.otaru.lg.jp

水道局ホームページ 小樽市　水道局 検索

SOY INK この広報誌は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



中央下水終末処理場の上空から見た小樽の街並み

第２次小樽市上下水道ビジョンの進捗管理について

水道局では、令和元年度に策定し令和６年度に中間見直しを行った第２次小樽市上下水道ビジョン（期間令和元～10年度）に基づき、中長期的な視点で効率的、効果的に事業を進めることで、将来にわたって持続可能な上下水道サービスの提供に努めています。本ビジョンでは、「未来につなげよう、信頼される “おたるの上下水道”」を基本理念とし、８の経営方針と12の具体的施策、28の実現方策を設定しています。

今回は、近年地震等の自然災害が頻発していることから、上下水道における災害対策への取組状況（令和７年度末時点）について、四つの取組を紹介します。

【経営方針】

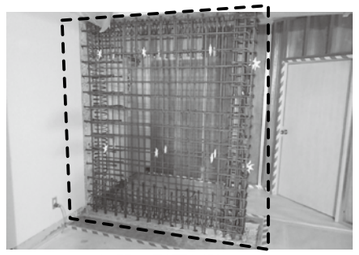
1 安全な水の供給
2 快適で安全・安心な生活環境の創造
3 上下水道機能の維持・強化
4 経営基盤の強化
5 お客さまの視点に立った事業経営
6 資産・資源の有効活用
7 危機管理対策の充実
8 広域連携の推進

8 災害に強い水道の構築

地震や大雨等の自然災害による断水リスクを未然に防止するため、「小樽市水道耐震化計画」に基づき、水道管路と施設の耐震化を計画的に進めています。令和元年度から令和７年度までの間に水道管路については、約5kmの耐震化工事を実施し、耐震化が必要な管路約174kmのうち、約54kmの耐震化を完了しました。また、水道施設については、１施設の耐震化工事を実施し、耐震化が必要な50施設のうち、９施設の耐震化が完了しています。

今後も管路および施設の耐震化を着実に推進することで、安全で安定した水道水の供給に努めます。


管路の耐震補強工事
（管と管のつなぎ目に補強金具を取付）


施設の耐震補強工事
（浄水場に追加する壁の鉄筋組立状況）

19 わかりやすい情報の提供

市民の方に上下水道への関心を深め、その大切さを知ってもらうため、「水道週間」や「下水道の日」に合わせて上下水道施設に関するパネル展などを開催しています。

また、上下水道事業PRイベント「水道フェスタ」では、体験型ブースを通じて子どもたちが楽しみながら上下水道を身近に感じられる機会を提供するとともに、災害対策に関する情報発信などを行っています。


上下水道事業PRイベント

「第２次小樽市上下水道ビジョン」関係書類は水道局ホームページに掲載していますので、二次元コードからアクセスしてください。

また、水道局本庁舎、市役所庁舎別館１階市政資料コーナー、図書館、塩谷・駅前・銭函各サービスセンターでも閲覧できます。

小樽市　上下水道ビジョン　検索

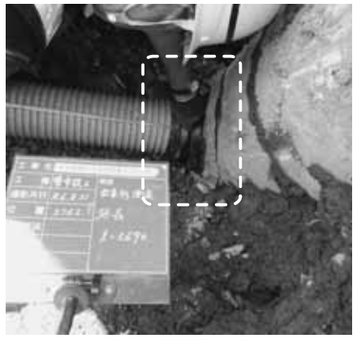
【具体的施策】 **【実現方策】**

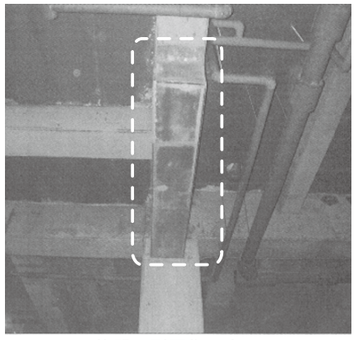
- 安全で良質な水の供給
  - 1 信頼性の高い水質検査体制の維持
  - 2 水質管理の強化
  - 3 給水装置などの適正管理
- 公共用水域の水質保全
  - 4 下水道の接続促進
  - 5 適正な放流水質の維持
- 水道施設の機能維持・強化
  - 6 適正な施設の維持管理
  - 7 老朽施設の延命化と効果的な改築・更新
  - 8 災害に強い水道の構築
  - 9 水道施設の効率化・最適化
- 下水道施設の機能維持・強化
  - 10 適正な施設の維持管理
  - 11 老朽施設の延命化と効果的な改築・更新
  - 12 災害に強い下水道の構築
  - 13 下水道施設の効率化・最適化
- 財務体質の強化
  - 14 収入の確保
  - 15 経費の節減
- 人材の育成と技術の継承
  - 16 組織体制の再構築
  - 17 協働の推進
  - 18 研修の充実
- 広報活動の充実
  - 19 わかりやすい情報の提供
  - 20 小樽の水のイメージアップ
- 料金システムの充実
  - 21 わかりやすい料金体系の研究
  - 22 支払方法の研究
- 資産の有効活用
  - 23 歴史的価値のある資産の有効活用
- 環境負荷の低減
  - 24 再生可能エネルギーの利活用の推進
  - 25 省エネルギー化の推進
- 危機管理対策の充実
  - 26 危機管理体制の強化
- 近隣自治体との連携
  - 27 連携による組織力の強化
  - 28 災害時などにおける連携の推進

12 災害に強い下水道の構築

地震等の発生時にも下水道の機能を維持するために 「小樽市下水道耐震化計画」 に基づき、下水道管路と施設の耐震化を計画的に進めています。令和元年度から令和7年度までの間に下水道管路については、老朽化した管の更新に併せて約7kmの耐震化工事を実施しています。なお、令和7年度には、口径700mm以下の汚水管について簡易耐震診断を実施しており、その結果と合わせると管路総延長約580kmのうち、約477kmが耐震性能を有している管路となります。また、下水道施設については、令和6年度に高島汚水中継ポンプ場の耐震化を実施しており、耐震化が必要な14施設のうち、3施設の耐震化が完了しています。

今後も管路および施設の耐震化を進めることで、災害に強い下水道を目指していきます。


管路の耐震化工事
（管とマンホールのつなぎ目を更新）


施設の耐震化工事
（ポンプ場の梁を鉄筋コンクリートで補強）

26 危機管理体制の強化

近年、全国各地で地震や集中豪雨などの自然災害により、上下水道施設が甚大な被害を受け、市民生活などに影響を与えるケースが見られます。

水道局では、職員が非常時に迅速かつ的確に対応がとれるように「小樽市上下水道BCP※1」 を策定し、職員研修の実施や各種訓練に参加するなど、BCPの精度向上を図るとともに、必要に応じて修正を行いつつ、危機管理体制の充実に努めています。

小樽市上下水道BCP※1

災害時など人、物、情報等利用できる資源に制約がある状況下において、優先的に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等を定めた計画



小樽市総合防災訓練（臨時給水所の設置状況）